

## 「文化の重視と人間性の回復」

高松市長 おおにし 大西 ひでと 秀人

我が郷土の生んだ故大平正芳元首相の演説集「永遠の今」の表紙をめくったページに次のような言葉が記されています。

「私は、このように文化の重視、人間性の回復をあらゆる施策の基本理念に据え、家庭基盤の充実、田園都市構想の推進等を通じて、公正で品格のある日本型福祉社会の建設に力をいたす方針であります。」故大平正芳氏が総理大臣として最初に行った所信表明の一節です。

この「文化の重視と人間性の回復」という言葉を私自身もまちづくりの基本理念とさせていただきました。そして、「イノベート高松 - 夢と誇りを持って」のキャッチフレーズで、「まちづくり」「人づくり」「行政改革」の三つの大きな柱立ての下に、五十項目の政策を市民の皆様とのお約束としてマニフェストに掲げ、先の統一地方選挙において高松市長に初当選させていただきました。

高松市は、平成十七年度には近隣六町と合併し、人口約四十二万人を擁する新しい中核市となっています。

都会的魅力を持つ中心部に「讃岐高松芸どころ」「商都高松」の伝統が息づく旧高松市の地域に、世界で最も高価だともいわれる庵治石の産地で石材業や水産業が盛んな庵治地域、同じく石材業が盛んでイサム・ノグチ庭園美術館もある牟礼地域、南は徳島県に接し、温泉郷で有名な塩江地域や高松空港が立地する香南地域、水源地としてのため池を多く持ち近郊農業が盛んな香川地域、松盆栽が盛んで鬼無地区と合わせると全国の八割のシェアを持つ国分寺地域が加わり、高松市全体の都市の魅力も飛躍的に増大しました。

「芸術文化」「自転車」「コミュニティ」「水環境」といった、まちづくりで個性的なキーワードも打ち立てられる、新生高松市発展のため、誠心誠意力を尽くして参りたいと決意を新たにしているところです。